

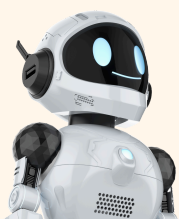


いま、企業のDX推進の流れが大きく変わりつつあります。以前のように、全社的な大規模システムを一気に入れ替えるのではなく、「まずは小さな改善から始める」という進め方が主流になってきました。できるところだけのDXでも十分に効果が出ることが分かってきたからです。

Topic 01

企業のDX推進が **小さく始める** ヘシフト

なぜ「小さく始めるDX」が増えているのか？



DXはスモールスタートで！

① 失敗してもやり直せる！

まずは「ひとつの業務」、「ひとつの部署」から安全に改善をスタートする！

② 「小さく始める」はAI・クラウドサービスとの相性が○

ChatGPT、SaaSツールなど、初期費用0円～数万円の始めやすいツールが多い。

③ 社内の理解を得やすい♪

大きく変えると社内の反発があるので、効果の見える小さな成功で理解を広げる。

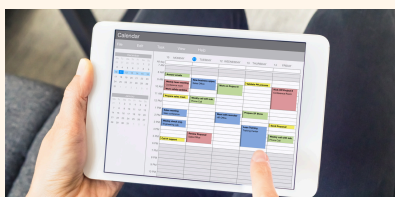
これだけはやろう！最初の一步にちょうどいい、実用DXソリューション

何から始めていいか迷うところですが、まずはこれができているかチェックしてみてください。基本的なDXソリューションを導入することで、今後さらなる効率化を進めることができます！



書類・事務作業の効率化

- ✓見積書や請求書を自動で作れるクラウドサービス
- ✓紙の申請書をWEBフォーム化するワークフローアプリ



勤怠・社員管理の負担軽減

- ✓紙の勤怠をスマホで記録できる勤怠管理アプリ
- ✓メンバーの予定を把握するスケジュール管理ツール



顧客管理

- ✓名刺をスマホで撮るだけで管理できる名刺クラウド
- ✓顧客情報を一か所にまとめられる簡易CRM



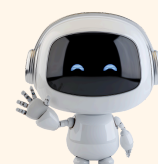
ファイル共有・社内コミュニケーション

- ✓ファイルを迷子にならないよう整理できるクラウドストレージ (Google Drive/OneDrive)



IT環境の整備

- ✓社員のパソコンを守るウイルス対策 + 管理ツール
- ✓PCデータのバックアップ



大きな投資をしなくても、「小さく始めるDX」で十分効果が出ます。ムリのない範囲で、業務効率化の一步を踏み出してみてください。

